

■米国：NY州、クリーン電力基準に原子力を含めることを正式決定

2016年1月22日付の報道によると、ニューヨーク（NY）州の公共事業委員会は、現在策定作業を進めているクリーン電力基準（CES：Clean Energy Standard）ポートフォリオに原子力発電を含めることを正式決定した。NY州のクオモ知事は昨年12月、2030年までにNY州の消費電力の50%を再生可能エネルギーで賄うとするCESを策定するよう公益事業委員会に指示していた。公益事業委員会は今回、CESの範囲を拡大し、CO2排出削減に貢献している原子力発電を含めることとした。このCESには、経済的理由で閉鎖リスクにさらされているNY州北部の原子力発電所を支援する仕組みが盛り込まれる予定。NY州北部で原子力発電所を運営するエクセロン社は、「この政策は、NY州北部の原子力発電所の継続的な運転および地域経済の発展を長年にわたり支援する」と述べ、今回の決定を歓迎している。